

2017年度 第2回 CPC研究会

日時：6月16日(金) 13:30～16:30

会場：東京八重洲ホール 701 会議室 <http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>
(〒103-0027 東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル TEL: 03-3201-3631)

参加費：維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 20,000 円
<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

「ハイパーコール(石炭溶剤抽出物)からの新規炭素材料製造の試み」

株式会社神戸製鋼所 濱口 眞基 氏

- 1) ハイパーコールとは
- 2) ハイパーコールの機能応用
その一 冶金分野
その二 機能性炭

3) まとめ

ハイパーコールはいわゆる「溶剤精製炭」の一種であり、抽出溶剤としてナフタレン類を循環使用すること、重力沈降と濾過の組合せにより灰分濃度 0.1%以下までの高純度化が可能なこと等が特徴です。本講演では、ハイパーコールプロセスの概要と、それを原料に冶金用炭材や機能性炭素を製造する試みについて紹介します。ハイパーコールの化学構造と炭素化特性(とくに多孔質性の発現)の関係についてはほとんど未解明ですので、研究会で議論していただければ幸いです。

15:05～16:30

「ハロゲン処理を用いた糖類由来炭素体の高機能化」

山梨大学 宮嶋 尚哉 氏

- 1) はじめに -ピッチの改質処理-
- 2) ハロゲン不融化の特徴
- 3) 糖類のハロゲン処理 炭素化収率と細孔特性に及ぼす影響-
- 4) 従来賦活法とは少し異なる細孔制御
- 5) 総括

酸化性雰囲気下における炭素前駆体の熱処理は不融化と呼ばれ、炭素体の形態制御において重要な位置付けとなっています。通常、空気(酸素)を用いることが一般的ですが、代替にハロゲンを用いると処理時間の短縮に加え、炭素化収率が飛躍的に向上する場合があります。今回は、ハロゲン不融化のメカニズムと、これを糖類の改質処理に展開した場合の機能性発現(ユニークな細孔構築など)についてご紹介致します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
6月16日の研究会に出席します(東京八重洲ホール 701 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: